

①ユニバーサル

支える人と支えられる人という一方の関係性を超えて、双方に支え合うこと
(障壁や困難の解消、格差の是正、機会の均等、交流の促進、自然との共生など)

④ウェルネス(健康)

誰もが幸せを感じながら生活し、生涯現役として活躍できること
(身体的な健康、精神的な健康、社会的な健康など)

⑤スマート(快適・先端)

先端技術等を活用し、まちの魅力・快適性を高めていること
(利便性の向上、生産性の向上、人材育成、ゼロカーボンなど)

●世界からヒト・モノ・投資・情報を引き付け、共生社会や環境都市の実現、都市のリニューアル等に生かすため、札幌の強みであるウインターランドの国際大会が誘致・開催されていること⑤が重要。

●誰もがスポーツ(ウインターランドを含む)を楽しめる(する・みる・ささえる)こと④や、文化芸術を通じた学びや交流の機会が充実していること①が重要。

SWOT	Strengths	Weaknesses	Opportunities	Threats
S×0	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな自然環境、5mの降雪と共存する世界に類を見ない大都市 冬季オリンピックの国内候補地への内定 地域愛着度の高い市民の多さ 都市機能の集積 高い都市ブランドイメージ 観光満足度の高さ 		<ul style="list-style-type: none"> 価値観やライフスタイルの多様化 都市のリニューアル時期による投資意欲の高まり 	
W×0		<ul style="list-style-type: none"> 市民の健康寿命は全国平均以下 町内会加入率の低下 (地域意識や人間関係の希薄化) 	<ul style="list-style-type: none"> 価値観やライフスタイルの多様化 人生100年時代の到来、ライフシフト 	



■基本目標13 世界屈指のウインターランドシティ

※冬季オリンピック招致・開催のポテンシャルがある世界屈指のウインターランドシティを目指す目標を新設。

■基本目標14 四季を通じて誰もがスポーツを楽しめるまち

※子どもから高齢者、障がいのある人、観光客も含めて、誰もがスポーツを楽しめる(みる、する、ささえる)観点を強化。

※審議会意見を踏まえ、四季を通じてスポーツを楽しめるという視点を追加。

■基本目標15 文化芸術が心の豊かさや創造性を育むまち

※文化芸術を誰もが楽しめることに加え、心の豊かさや創造性を育む観点を強化。

第2回審議会までの議論を反映

基本目標13 世界屈指のウインタースポーツシティ

■目指す姿 案

1 身近なところでウインタースポーツを楽しむことのできる環境が充実しています。また、札幌で育ったウインタースポーツのアスリートが国内外で活躍しています。

※総合型ハイパフォーマンススポーツセンター誘致、アスリートを育成する環境の充実 という観点を追加

2 豊富な降雪量と都市機能を合わせ持つ世界でも稀有な環境を生かして、大規模なウインタースポーツ大会を誘致・開催し、世界から注目されています。

※大規模スポーツ大会の誘致、大会で得た知見の市民還元、大規模スポーツ大会を契機としたシティプロモート という観点を追加

■私たちが取り組むこと 案

	市民・企業など	行政
1	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的なウインタースポーツへの参加 (市) ・アスリート雇用・支援 (企) 【新規】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウインタースポーツに参加しやすい環境づくり
2	<ul style="list-style-type: none"> ・大会開催への支援・協力 (市・企) 【新規】 ・来札者へのおもてなし (市・企) 【新規】 	<ul style="list-style-type: none"> ・大会招致・開催【レバ】 ・大会で得た知見を市民に還元する仕組みづくり【新規】 ・大会を契機としたシティプロモート



■当該基本目標に関する今後（継続を含む）の課題、新たな視点

- 市民の文化やライフスタイルとして根付かせるため、ウインタースポーツ実施率の上昇を目指すことが必要（H29:20.1%）。
- オリンピック・パラリンピック大会の開催が可能な都市として、ウインタースポーツシティとしての魅力を高めていくことが重要。
- 2030冬季オリンピック・パラリンピック大会の競技運営等のノウハウ蓄積、大会機運の醸成が必要。
- アスリート育成する環境づくりとしての、本市スポーツ施設の戦略的活用や、ICTを活用したオンライン指導、HPSC誘致が重要。
- 大規模スポーツ大会を通じて得た知見を市民に還元する仕組みづくりが重要。
- 大規模スポーツ大会等を契機として、人の呼び込みやシティプロモートを推進していく必要。

■第2回審議会でいただいたご意見

- 前回のオリンピックのときは、パラリンピックが無かったが、2030年冬季オリンピック招致となると、札幌では初のパラリンピック開催となる。そうなれば、冬季のパリアフリーを進めていく必要。（高野）

基本目標14 四季を通じて誰もがスポーツを楽しめるまち

■目指す姿 案

1 誰もがスポーツを楽しみながら、心身ともに健康で充実した生活を送っています。

※健康寿命の延伸につながる生涯スポーツの推進 という観点を追加

2 スポーツをきっかけに国内外から人が訪れ、地域経済が活性化しています。

※スノーリゾートのブランド化 という観点を追加

■私たちが取り組むこと 案

	市民・企業など	行政
1	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な参加や交流（市） ・参加の促進（企） ・民間スポーツ施設整備やアスリートの雇用（企）【新規】 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが参加しやすい環境づくり ・医科学的知見を市民に還元する仕組みづくり【新規】 ・スポーツ分野におけるICT活用の促進【新規】
2	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツイベントに伴う交流、おもてなしの推進（市・企）【レベ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツによるまちづくり ・スノーリゾートのブランド化【新規】



■当該基本目標に関する今後（継続を含む）の課題、新たな視点

- 高齢化社会の進行に伴い、スポーツを通じた健康維持・健康寿命の延伸を目指すことが重要。
- トップアスリートのサポートやスポーツ分野におけるICTの活用促進などを通じて得た医科学的知見を市民に還元する仕組みづくりが重要。
- スポーツを通じて、ハード・ソフトの両面から共生社会の実現を目指すことが重要。
- スポーツ実施率の向上（H29：56.4%）のため、多様化するライフスタイルに応じて、「する・みる・ささえる」のさまざまな角度から誰もが日常の中で気軽にスポーツを楽しめる環境整備や機会創出をしていく必要。
- スポーツをきっかけとして、他分野と連携した新たな価値創造。（スポーツ×〇〇）

■第2回審議会でいただいたご意見

- 健康寿命は重要なキーワード。日常の生活、運動などによる健康寿命の延伸について記載して欲しい。幼少期の発育が将来的な健康につながる。（川島）
- 公園の近くに住んでいる人は、そうでない人と比較して運動量が1.2倍と、活動できる場があることが重要。各区ウォーキングマップのような資源を広く周知し、特に高齢者に対して、外に出歩くきっかけをつくることが必要。（椎野）
- 障害のある方へのスポーツ振興も重要。（川島）
- 札幌の気候はウインターポーツに限らず、夏季のスポーツイベントを開催するにも適地であると考えるため、スポーツによる観光客誘致に取り組むべき。（川島、中田）

基本目標15 文化芸術が心の豊かさや創造性を育むまち

■目指す姿 案

- 1 誰もが文化芸術に親しむことができる環境が整い、多様な価値観が受け入れられています。
※社会包摂機能、多様性への理解 という観点を追加
- 2 札幌ならではの文化が育まれ、世界に発信されるとともに、
様々な分野との連携により新たな価値が創出され、まちの魅力が向上しています。
- 3 文化・文化財を適切に保存し様々な**形**で生かすとともに、札幌への愛着を深めることで、札幌の自然・歴史・文化が未来へ継承されています。

■私たちが取り組むこと 案

	市民・企業など	行政
1	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞や創作活動への積極的な参加（市） ・文化芸術活動への支援・協力（企） 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが観賞・創作に参加しやすい環境づくり ・担い手支援【新規】
2	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術を活用した交流（市） ・文化芸術の積極的な活用（市・企） 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際的な文化芸術イベントの開催 ・文化芸術による交流が生まれる環境づくり ・様々な分野との連携の機会づくり ・文化芸術の発信
3	<ul style="list-style-type: none"> ・文化・文化財の保存や様々な形で生かすための取組への理解・支援および協力（市・企）【新規】 ・事業への積極的な参加、担い手としての参画（市・企）【新規】 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化・文化財の保存や様々な形で生かすための取組 ・文化・文化財に関する普及・啓発 ・担い手支援【新規】



■当該基本目標に関する今後（継続を含む）の課題、新たな視点

- 社会包摂機能をいかし、多様な人・価値観との関わりによる相互理解を深める機会の創出を目指すことが重要。
- 行動様式が変容する中、より多様な鑑賞スタイルや創作・発表機会があることが重要。
- 誰もが日常の中で気軽に文化芸術に触れる・参加することのできる環境づくりが必要。
- 文化芸術の担い手の支援が必要。
- 文化芸術をきっかけとして、他分野と連携した新たな価値創造や、関係人口を増やすなどまちの活性化を目指すことが重要。
- 文化・歴史・自然の観点から郷土への関心、特に自然史から生物多様性の取り組みへの関心を高めることが必要。
- 文化遺産（歴史的建造物等）の保存・継承の担い手の確保が必要。

■第2回審議会でいただいたご意見

- 多様な人が当たり前に自然に交じり合って生活していく環境が重要（牧野委員）
- 札幌のイメージは初音ミクだと思っている人たちも少なくない。まちのイメージをつくっていく、カルチャーになっていくということがある。（佐藤（大）委員）